

令和元年度 第4回桜井市立学校規模適正化基本計画策定委員会  
会議録（概略）

1 日 時

令和元年 10月7日（月）13:30～14:30

2 場 所

中央公民館 2階 研修室1

3 出席者

(1) 委員（12名）

今谷浩二委員，日樫宗久委員，河合淳好委員，大磯亀雄委員，  
上田勝己委員，藤井守委員，清水恭子委員，金山成樹委員，  
檜原祥弘委員，青木浩之委員，松村喜弘委員，藪内誠一委員

(2) 事務局（4名）

河合教委総務課長，中西学教課長，小山教委総務課副主幹，  
米田教委総務課アドバイザー

4 会議の成立

委員 15名中、12名出席で、委員の過半数が出席しているため、桜井市立学校規模適正化基本計画策定検討委員会要綱第6条第2項の規定により会議が成立

5 協議事項

(1) 議事

- ①配布資料をもとに討議（答申書（案）について）
- ②今後の検討委員会のスケジュールについて

6 資料

- ・次第
- ・令和元年度 第3回桜井市立学校規模適正化基本計画策定検討委員会  
会議録（概略）
- ・答申書（案）

7 協議内容

(1) 議事

- ①配布資料をもとに討議（答申書（案）について）
  - ・「1. はじめに」について  
特に意見なし

・「2. 統廃合の取組方法及びスケジュール」

「(1)統廃合の取組方法」について

委員：2つ目の○に施設一体型とあるが、どのようなものでしょうか。

事務局：施設一体型とは同敷地内において、小・中学校を配置するものです。

委員：子ども達のことを考えると施設一体型が望ましいですが、老朽化が進んでいる施設もあるため、まず安全・安心の確保の観点から、経過措置を取る必要があると思います。そのような意味も含めた方が良いのではないのでしょうか。

事務局：最終的には施設一体型としますが、その経過措置の中で、近隣の小学校と中学校が離れている状態で、小中一貫校を導入するという事も視野に入れておくという認識でいます。

委員：大三輪中学校区では、小学校によって老朽化の進み具合が異なります。大三輪中学校区は20年先に統廃合を行う予定ですが、それまでも老朽化は進むため、老朽化対策について柔軟に考えてもらった方がより現実的ではないかと思います。

事務局：老朽化対策については、統廃合と合わせて考えていきたいと思っています。

・「(2)統廃合のスケジュール」について

委員：計画期間を前期・中期・後期と分け、それぞれの中学校区で統廃合を進め、計画の前倒しも視野に入れるとのことですが、どのような枠組みで計画の進捗等を確認する予定でしょうか。

事務局：基本方針にも示していますが、5年サイクルで計画の見直しを行っていきたいと考えています。

委員：枠組みについてはどのようなお考えでしょうか。

事務局：教育委員会で検討していくことを考えています。

委員：最後の「3. おわりに」のところに、「変化の激しい社会に対応した」とありますが、これからの学校は求められることが

大きく変わってくると思います。そのような中で、30年の計画期間を前倒しし、できる限り早く子ども達にしっかりとした学習環境を整えて欲しいと思っています。

事務局：学校規模適正化を進めるにあたって、これを契機に良い学校だと思ってもらえるように、努力していきたいと思っています。

・「(3)学校の統合に伴う留意事項」について

委員：「③その他」に、桜井市公共施設再配置方針の考え方に基づき統合を進めることを追加してもらいたいです。

事務局：そのように対応したいと思います。

委員：「③その他」に大前提である、保護者や地域住民と十分に協議・調整を行い、理解と協力の下で統合を進めることを追加してもらいたいです。

事務局：そのように対応したいと思います。

委員：計画期間を前期・中期・後期とし、それぞれ10年間としていますが、期間を絞った方が良いのではないのでしょうか。10年間で議論と統廃合を進めるのでしょうか。議論は統廃合の前から進めなければならないと思いますので、できるだけ早く進めてもらえたらと思います。

事務局：実際には、統廃合を進める前に実施計画を作る必要があり、計画期間の2～3年前に取り組むこととなります。前期の場合、来年度中に実施計画を策定する予定です。基本計画をもとに、実施計画を策定しますが、実施計画にはできるだけ早く取り組んでいきたいと思っています。

会長：地域の方々に説明するのはいつからでしょうか。

事務局：地域の方々に説明するのは、実施計画作成後と考えています。1年程度で実施計画をつくり、2年目から地域の方々に入ってもらうことを予定しています。

委員：基本計画が公表されるのはいつでしょうか。

事務局：基本計画は今年度の2～3月に公表する予定です。

委員：通学方法についてですが、統廃合により通学距離が長くなります。大三輪中学校区では公共交通が整っていないため、スクールバスの導入について検討もらえると思っていますので、保護者の方々にもその旨について説明していただけたらと思います。

事務局：学校の配置場所が決まりましたら、どのような通学方法が望ましいか検討していきたいと思います。

委員：通学方法については、柔軟に検討してもらいたいです。

事務局：従来の方法にこだわらず、通学方法を検討していきたいと思えます。

・「3. おわりに」について  
特に意見なし

・全体を通して

会長：地域によっては、プール等1つの施設を地域で整備し共有する方法もあるため、そのような方法も参考にしたいです。

事務局：そのようなことについても参考にしたいと思います。

委員：桜井中学校区については、隣接する小学校区との通学区域の再編も検討するとのことですが、他の中学校区については通学区域の再編を行わないということでしょうか。

事務局：その通りです。

②今後の検討委員会のスケジュールについて

事務局：第5回の検討委員会は11月5日（火）13時30分から開催予定です。